

ライジングSUN

2013年 10月号

特定非営利活動法人 SUN

TEL 03-3712-0653 FAX 03-3791-6076

<http://sun1991.net>

江口さんのマイストーリー 第4回

初めての精神科病院

聞き手：今日は、アルコールで、生きるのが難しいと思ってきた、40代ぐらいからのお話をお伺いします。

江口賢次：印刷会社の給料が良かったから、娘を新宿コマに、「ピーターパン」を見せに連れて行ったりできた。仕事は12時間二部制で、昼勤務の1週間は朝の8時半から夜の8時半まで。夜勤の1週間は、夜の8時半から朝の8時半まで。

毎週3万円ずつ銀行から下ろして、それを飲み代に当てて朝昼飲んでた。仕事中は、飲まない。だけど、休みになるとずっと飲んで、3万円をオーバーするようになって。

その年の12月、ボーナスを50万もらったのかな。暮れから正月にかけて仕事はないから、わけの分からない飲み方をしてね。正月明けか

ら会社も休んで、会社も当然呼びに来るんだけど、全然行かない。あの頃、女に手をだしてないんだよな。ただ酒屋行って、スナックを梯子して、家へ帰ってきて寝て。そうしたら、物が食えなくなった。

2月かな、総務課長がクビを宣言しに来た。そのときの俺の痩せ方が、瀕死の状態。彼が、何で知ってたのか分からないけど、タクシーで長谷川病院に連れて行ってくれた。体重が35.5kg。3日放置していりゃ、この人死んでたっていう話だよ。

3か月入院して、体力的には回復して物が食えるようになって、一応長谷川のプログラムをやった。退院する時に金が全然ないから、三鷹の行政につながったんだよ。病院が手配してくれたんじゃない。

結局俺には、もう住む部屋がないから、どこに行ったんだっけ？長谷川から…その辺の記憶が。ママ（作業所）に行けって言われたんだけど。
聞き手：更生施設の塩崎荘とか浜川荘とか、それはずっと後ですか？

SUNにつながる 仕事を見つける

江口：今から15年前か。浜川に行って、SUNに来たのか。

聞き手：SUNの最初の頃ですよ、SUNが20周年なので。

江口：あのとき、10人いたかいなか、メンバーが。

今残っているのは、TK、IR、TS。

聞き手：他に誰がいたんだろう。ITさんは知らないですか。

江口：いや、知らない。亡くなったよ、MRさんとか、KNさんとか。あと、背の高い、ギャンブル好きな男。あの人も亡くなったらしい。

聞き手：IIさん？懐かしいですね。職員は誰がいました？

江口：女性だったな。俺もよく覚えてないんだ。ああ、YMさんとMTさんがいた。

聞き手：じゃあ、YMさんとMTさんで、TKさんはまだ入っていない。

そのときのSUNは、どんな印象でした？こんな所にいてもしょうが

ないとか（笑い）。

江口：いや、俺、例のごとく、人に対して好き嫌いないから。「こういう所もあっていいんだ」って思っていたね。「いずれは社会に出なさい」とは言われていたけど、これから外に行く一步手前の、訓練の場所、憩いの場所だと思っていた。

浜川にいるときに、自分で仕事を見つけた。練馬のマンションの管理人。紹介してくれたのは、長谷川病院で知り合った、学芸大学のAN[・]っていう患者さん。AN[・]さんは、銭持ってたな。筆筒をバツて開けると、札束がドンって。



聞き手：（笑い） どういう人ですか。

江口：目黒の自分のマンションを売って、行政にかかっていた。その人に、結構面倒見てもらった。浜川にいる頃、月の小遣いが1万円しかないから、よく銭をくれたよ。もう死んじゃったけどね。毎日飲んで。

聞き手：その方が亡くなった、そういうことも一つのメッセージですね。

SUNにはどのくらいいたんでしたっけ？

江口：半年。YMさんに「江口さん、仕事はやめたほうがいい。間違いなく滑る、今の状態のあなたじゃ。私は薦めない」もう、延々と言われた。呼び出されちゃあその話、みたいなの。

SUNと浜川にいるときは、当然飲まない。だけど、飲みたい欲求があったんだろうね、今考えれば。金が欲しくてしょうがなかった。

聞き手：そのお金が欲しい原因が、やっぱりお酒が飲みたいから。

江口：そう。あと、金を溜めて何をすると、目的とか目標とかを、自分で設定できなかつたからね、何にも。行き当たりばつたりの考えしかない。そのときの自分の都合のいい方向にOKが出ると、喜んじゃう。通らないと「チツ」と、恨みになる。感情の起伏が、すごかったよね。たぶん酒が完璧に抜けていねえんだ。

聞き手：お酒を止めて、まだ1年経つか経たないかぐらいですよ。

江口：11か月はね。病院、浜川、仕事と移行するんだけど、浜川イコールSUNだよ。11か月は飲まなかったという記憶がある。

面接に行って、俺、金を引っ張るのが上手いんだよ（笑い）。天性のものがある。「結核で療養してる。もう体力も回復したけど、今いる施設では月1万しかもらえない」と、そこは正直に。「だから、当初の生活費を5万でも6万でも、会社が出してくれる程度のお金を前借りできないか」そうしたら、6万円かな、「はい」って。その金見たら、もう駄目だ。

聞き手：お金で考えが変わっちゃうんですよ。断酒はどうしてもよくなっちゃう（笑い）。

管理人の仕事で再飲酒



江口：1週間ぐらいは、真面目に働いた。仕事を教えてもらううちは、酒飲んでられないから。何せ金を持つてから、ウキウキしてるわけよ（笑い）。午前中で仕事は大体終わっちゃうの。ゴミの仕分けとか、マンションの前の掃除とか。午後は受付に座ってる。

それまで浜川で、朝昼晩と食事が出たわけじゃない。今度は自分のお金で、食事を全部賄わなくちゃならない。なるべく店で食べないように、セブンイレブンで弁当なんかを買ってきて食べていた。

一週間経って、気が緩んだんだな。昼時になって「さあ、飯食いに行くか」と、何か月かぶりにラーメン屋に入った。注文したのはビールとタンメン（笑い）。習慣でね。先にビールがどーんと出てきて、「あれ、ちょっと待て」って、一瞬考えた。今まで飲んでないのに。「でもまあ、ビール1本ぐらい、いいか」で、飲んで、タンメン食べて、仕事行ったよ。その日の夕方からもう、酒屋行ってケースで買ってる。あれよあれよという間に、1か月半持たなかったね。

聞き手：管理人室で、連続飲酒に入っちゃったんですか。



江口：完璧に。

聞き手：それで、今度はどうしたんですか。

江口：だから、YMさんにSOSを出したの。

聞き手：YMさんが管理人室まで来た？

江口：いや、「金がねえんだ」「練馬から、タクシーに乗って目黒区役所まで来い」って、あったじゃん。

聞き手：ああ（笑い）、「とりあえず目黒に来ないと、目黒で保護できない」とNGさん（福祉事務所のケースワーカー）が言ったという。で、担当がASさん。

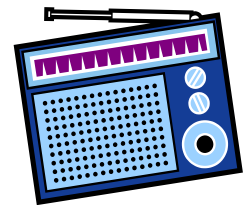
江口：最初、ASさんじゃなくて、上司のNGさんが面接して、目黒病院にそのまま入院。あのときNGさん、優しくったなあ。洗面器だ歯ブラシだって、身の回りのものを皆持ってきてくれた。

病院で「これからどうするんだろうなあ」なんて考えてた。仲間が見舞いに来るしね、普通の病院だから。「このままじゃまずいな」って、えらい危機感を持ってたね。

役所の人に来て「江口さん、この辺で部屋を見つけていいから。行くところもないんだから」と。で、今の所。

聞き手：じゃあ、今の所長いですね。15年。

江口：15年。最初は上下の布団と、ラジオ一個だけだった。何でラジオ持ってたんだろうな。それから、スタートだね。



（続く）

最近のSUN

現在、SUNには27名の方々が通っています。定員の30名まで、あと3名となりました。

SUN 活動報告会

「依存症についての理解を深める」をテーマに、7月20日、活動報告会を目黒区役所・大会議室にて行いました。目黒区長や区議会議員の皆様をはじめ、多くの関係者の方々にご参加いただきました。



午前中は、自立訓練（生活訓練）、就労継続支援B型、就労移行支援の各事業を、スライドを交えて紹介しました。



午後は、「飲酒行動とアルコール依存症に関する世論調査2013」の調査結果について報告しました。

その後、皆で練習した手話ダンスと合唱を発表しました。

手話ダンス練習中

活動報告会でも披露した手話ダンスを、プログラムに本格的に取り入れ、毎朝練習しています。



「歌って、ステップを踏んで、手話をする」という高度な練習を通じて、体力の回復や一体感の共有を目指しています。

11月の「アル施連秋のフェスティバル」での発表が目標です。



リカバリーパレード「回復の祭典」



9月23日、依存症、心の病、生きづらさなどを抱える本人、家族、友人、支援者、その他の賛同者が回復の喜びを祝う「リカバリーパレード」に参加しました。

都庁前の新宿中央公園を出発し、1時間半ほどかけて新宿を一周。





琉球太鼓やベリーダンスの皆さんが華やかに練り歩く中、SUNのメンバーも旗を掲げて回復をアピールしました。

今後の予定

10/7・8(月・火) 宿泊研修 草津温泉
11/27(水) アル施連秋のフェスティバル



アルコール等依存症からの回復には、同じ病気から回復したいと悩んでいる人達との交流、グループが必要です。

SUN プログラムでは、健康な生活や習慣を取り戻すために、ミーティングやグループ作業等が組み立てられています。

地域社会に戻れる生活の基礎作りと、生活習慣の回復を目指します。

特定非営利活動法人 SUN

TEL 03-0712-0653

月～土 9:00AM～4:00PM

〒152-0001 東京都目黒区中央町2-32-5

スマイルプラザ中央町4F(旧第六中学校)

東急東横線 学芸大学駅下車 徒歩7分

東急バス 五本木バス停 徒歩8分